

日本一と世界一

クオリティゼミナールは生徒さんの努力のおかげで、日本一の東京大学合格者を輩出できました。

そして、園長を務める「ひよ子こども園」では、先生方、子ども達、保護者、そして地域のみなさまのおかげで、世界一のギネス記録を達成しました。

人間にはまだ使われていない潜在能力があります。それを引き出せば、誰もが信じられないような達成をできると私は信じています。そのためには、可能性が引き出されるような環境を作ることが重要です。

クオリティゼミナールの生徒さんたちは、高校生になる頃にはとにかく勉強します。もちろん、小学生の時期は手がかかりますが、生徒さんの可能性が引き出されるように、正しい学習方法を丁寧に指導していきます。

このような学習方法が身に付き、可能性が発揮される環境があれば、生徒さんたちは伸びるのです。そして、親御様も信じられないような高みに達するのです。

その一人が小学4年生からクオリティゼミナールに通い、このたび東京大学に合格された真ちゃんです。

これまで地方大学の医学部医学科や九州大学に合格させることができれば塾としては十分だと考えていましたし、指導者として私自身がそれ以上の能力がないことは知っています。しかし、生徒さんは自分の目標に向かって努力し、夢を実現したのです。素晴らしいことです。

ひよ子こども園は、19名だった先生方が5年間で40名を超えるまでになり、佐賀県からはモデル園と称され、NHKでは働き方改革の特集で取り上げていただきました。



東京大学理科1類 松本真太郎さん

働きやすい環境を整えると、やる気のある先生方が集まってくれるのです。

私は保育に関しては無知なので指導はできません。そこで、お茶の水女子大学名誉教授の内田伸子先生に顧問になっていただいています。

毎月オンラインで指導を受け、年に1回は当園に来ていただき教えを仰いでいます。本年の9月にもお茶の水女子大学に9名の先生が研修に行きます。このような環境を作ることが責任者の役割だと思っています。

私は決して権威的な園長ではありません。むしろ弄られるほどです。それでも、私が決断しやすい様に適切な助言をしてくれる有能な主幹保育教諭と向上心のある先生方のおか

げで、「園児も先生も来なくなる園」になりました。

主体性を引き出す

やらせるのではなく、やりたくなるように導き、主体性を引き出すのです。小学生の頃に正しい勉強をしない、または、モチベーションが下がるような関わりの家庭の生徒さんは、中学になると勉強に熱が入らなくなります。

クオリティゼミナールは小学生から大学受験まで指導しているので、表面的な点数で判断して指導するわけにはいきません。「最後の笑いが最上の笑い」を生徒さんと保護者の方と分かち合うためにも、最後まで走り抜けられるだけの正し

い学び方と家庭内教育も指導しています。

「まことに小さな国が開花期を迎えようとしている」

司馬遼太郎さんの『坂の上の雲』の書き出しのごとく、クオリティゼミナールも「まことに小さな塾が開花期を迎えようとしている」様な気がします。それは、真ちゃんによる「東大・京大コース」がクオリティゼミナールに開設されたからです。

佐賀西高校では圧倒的1位で、共通テストで849点/900点満点、個別試験でも高得点の東大生が直接指導してくれるのです。

クオリティゼミナールは、「まことに小さな塾」のままで構いません。私は大きくするつもりは全くありません。ご縁あって来てくださる生徒さんとそのご家族の未来がより良くなるために、日々指導させていただければ幸いです。



池松英治 (いけまつ ひではる)
クオリティゼミナール塾長
社会福祉法人ガジュマル理事。ひよ子こども園園長。
小学生から大学受験まで指導。勉強が苦手な生徒さん、支援が必要な生徒さんを丁寧に指導。不登校の生徒さん及びご家族と向き合い復活させている。ここ6年で6人の医学部医学科合格。

